



均質でシンプルな格子梁

南三陸町庁舎(宮城県)
設計:久米設計 / 元請:銭高組・山庄建設JV

地元三陸スギ集成材の梁が格子状に続く建物。東日本大震災で被災したために高台に移転・新築した庁舎。建物の両端にRC造の壁が並び木の格子梁の上にはS造の構造体。適材適所に配置されたRC造・木造・S造が構造の相関的役割を担い、その上でデザイン的にも調和された開放的な空間を演出。木造にするための木造ではなく、空間表現の必要性から生まれた木造。梁成550(600)に対し幅は200で統一。均質でシンプルな格子梁が、復興の拠点としての集いの場に軽やかさと親しみやすさを醸し出している。国内公共施設初のFSC認証(全体認証)取得施設。

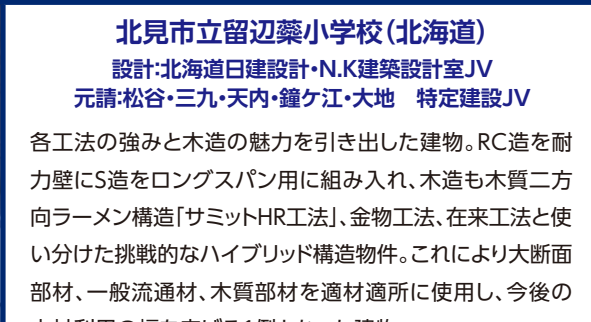


New! GIR CLTパネル+軸組工法

日本エコシステム 浜松営業所(静岡県)
設計:西井都市建築設計事務所 / 元請:東新住建

国産スギのCLTと構造用集成材を活用したパネル+軸組の併用工法にNew! GIR接合を採用した建物。軸組を構成する構造用集成材以外の壁・床・天井は、すべてCLTを使用。軸組工法を活用することでCLTの鉛直荷重が軽減されパネルの厚さが薄くできる。

H28年度サステナブル建築物先導事業



北見市立留辺薬小学校(北海道)
設計:北海道日建設計・N.K建築設計室JV
元請:松谷・三九・天内・鐘ヶ江・大地 特定建設JV

各工法の強みと木造の魅力を引き出した建物。RC造を耐力壁にS造をロングスパン用に組み入れ、木造も木質二方向ラーメン構造「サミットHR工法」、金物工法、在来工法と使い分けた挑戦的なハイブリッド構造物。これにより大断面部材、一般流通材、木質部材を適材適所に使用し、今後の木材利用の幅を広げる1例となった建物。

RC vs 木 vs S 挑戦的なハイブリッド構造



床CLT現し!国内初の木造3階建校舎

羽黒学園(山形県)
設計:日本設計 / 元請:鶴岡建設

学校林を活用した木造校舎。耐力壁や筋交いの不要な「サミットHR工法」で開放感ある自由度の高い教室構成を実現。将来、教室の用途がえにもフレキシブルに対応可能。2階床の一部にCLTを使用することで、構造面が直に下の階の仕上げ面となり、天井に木の意匠が加わり広がりあるデザイン空間となっている。

素材を活かした工法革命

なら食と農の魅力創造国際大学校(奈良県)
設計:徳岡設計 / 元請:中尾・中和JV

風致景観を維持するため、高さや素材・色彩などの調和を意識した施設で奈良県産スギをふんだんに使った施設。とくに交流サロン棟は、玄関の吹き抜け部が、接合金具が見えないリング構造で、圧巻の存在感を放ち、奈良の寺院建築が持つ柱や梁の力強さと木のぬくもりある開放的な空間構成となっている。

力強く開放的な木造空間



木質化構造 鉄骨+構造用集成材

サーラプラザ佐鳴台(静岡県)
設計:竹下一級建築士事務所 / 元請:鈴木組

セントラルガーデンを中心に食labo・住まいlabo・カフェ・ウェルカムホールの4棟からなる施設。RC造の柱に鉄骨梁の構造で大空間を演出。鉄骨梁に構造用集成材を合わせ梁することで木の温かみが醸し出され、中心に向かって延びる放射線状の木梁の間から注がれる陽光は、木漏れ日の中にあるような居心地の良さをもたらしている。

柱立て継と合わせ梁で大空間を演出



八戸市立西白山台小学校(青森県)
設計:日本設計 / 元請:寺下・高橋・東邦JV

地元のスギやアカマツ、カラマツなどの製材を活用した木の香り漂う校舎。同地でイカを釣るために用いられていた「はねご」という仕掛けをヒントに、はねごをずらすイメージで全体に細い線材を組み合わせたデザイン。特に多目的ホールは大空間ながらも細いピッチで配置された木材が、圧迫感のない木に包まれたぬくもりある開放的な空間を演出している。流通製材がもつ木質感を構造体に最大限に生かし、構造美を表現している建物。

製材の組合せで木の香り漂う校舎



実績が信頼に

SMB建材株式会社 木構造建築部 <http://summit-hr.com>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-1 JTビル11階 TEL03-5573-5300 FAX03-5573-5309